

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
理事長	山下 静也
診療局参与	永井 義幸
主任部長 兼心臓・血管センター副センター長 兼リハビリテーション副センター長 兼医療安全管理副室長	習田 龍
部長兼健康管理副センター長 兼先進医療開発センター長 兼ドクターサポートセンター長 兼認知症ケアセンター長兼産業医	増田 大作
部 長	牧野 信彦
副部長	正木 豪
医 長	義間 昌平
医 長	阿部 誠
医 員	大菅 瑞生
医 員	北山 詩奈子
医 員	迫 恒志
非常勤医員	緒林 秀和(9月退職)
非常勤医員	鳥居 南見
非常勤医員	北川 峻

＜特色と概要＞

当院は、泉州地域の医療圏の要となる病院として、院内に救命救急センター、母子医療センター、感染症センターなどの高度な医療センターが集積する三次救急医療センターである。このことから、これら救急部門からの多くの症例が当循環器内科へと転科してくることにより、多彩かつ重症の急性期の循環器疾患を多く診療している。さらに、広い泉州の多くの連携医療機関から急性期・慢性期を問わず多くの循環器疾患や循環器疾患を疑う症状を訴える患者が紹介されてくる。その上、当院の他科やこれら連携医療機関で治療中の他の疾患に合併する循環器疾患に対しても治療を行うことから、当院の循環器内科医は循環器領域の知識のみならず、他科に関連した総合的な幅広い領域の知識が要求される。このため、日々診療技術の向上に努めつつ連携医療機関や他科と協調して診療にあたっている。

当科の診療実績としては次項に示す通りである。数多くの循環器疾患及びその関連疾患を救命救急センターや救急外来、また近隣のプライマリケア医から継続して受け入れている。疾患としては多岐に渡り、近隣のご協力もあり外来患者数、入院患者数とも増加している状態にある。疾患としては虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)、各種不整脈(心房細動・粗動、洞不全症候群、房室ブロック、心室頻拍、心室細動、無脈性電気活動、心静止)、末梢血管疾患、弁膜症(特に大動脈弁狭窄症)、感染性心内膜炎など多くの疾

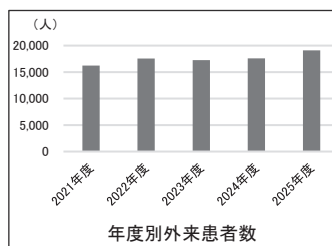
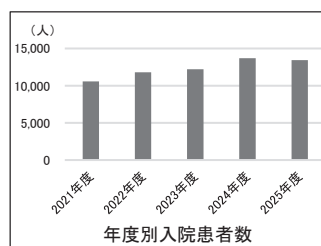
患が該当している。特に、当院の特色としての救急症例の多さが挙げられる。また、脂質異常(遺伝的な原発性のものを含む)や睡眠時無呼吸症候群など、心血管疾患の一次予防・二次予防に対しても専門的な治療を継続して行っている。

＜実績＞

- ・外来患者数、入院患者数(延べ人数)
- ・入院患者の疾患名と人数(主病名件数 上位50まで)
- ・循環器内科の検査・治療数

患者数(外来及び入院、延べ人数の推移) (人)

年度	外来		入院	
	延べ患者数	1日平均	延べ患者数	1日平均
2021年度	16,237	67.1	10,564	28.9
2022年度	17,557	72.3	11,806	32.3
2023年度	17,246	71.0	12,213	33.4
2024年度	17,595	72.4	13,686	37.5
2025年度	19,108	79.0	13,437	36.8



入院患者の疾患名と人数(主病名件数 上位50まで)

(期間2025/4/1-2026/3/31退院)

主病名(ICD10コード名)	ICD10	件数
無痛性<無症候性>心筋虚血	I256	172
心不全, 詳細不明	I509	151
その他の型の狭心症	I208	138
発作性心房細動	I480	126
心房細動及び心房粗動, 詳細不明	I489	103
急性心筋梗塞, 詳細不明	I219	100
持続性心房細動	I481	93
睡眠時無呼吸	G473	56
うっ血性心不全	I500	47
狭心症, 詳細不明	I209	44
房室ブロック, 完全	I442	38
慢性虚血性心疾患, 詳細不明	I259	34
洞不全症候群	I495	30
上室(性)頻拍(症)	I471	29
全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症), え<壊>疽なし	I7090	27
(四)肢の動脈のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症), え<壊>疽なし	I7020	27
大動脈弁狭窄(症)	I350	26
記録されたれん<攣>縮を伴う狭心症	I201	22
不安定狭心症	I200	21
蘇生に成功した心停止	I460	18
心臓電子器具の機械的合併症	T821	17
心室(性)頻拍(症)	I472	14
陳旧性心筋梗塞	I252	12
心膜の疾患, 詳細不明	I319	12
アテローム<じゅく<粥>状>硬化性心疾患	I251	11

主病名 (ICD10コード名)	ICD10	件数
急性肺性心の記載のない肺塞栓症	I269	10
房室ブロック, 第2度	I441	9
大動脈の解離[各部位]	I710	9
その他及び詳細不明の房室ブロック	I443	8
下肢の動脈の塞栓症及び血栓症	I743	8
急性虚血性心疾患, 詳細不明	I249	7
左室不全	I501	6
その他の診断名不明確な心疾患	I518	6
虚血性心筋症	I255	5
昏睡, 詳細不明	R402	4
心室性早期脱分極	I493	4
臓器<器官>限局性アミロイドーシス<アミロイド症>	E854	4
下壁の急性貫壁性心筋梗塞	I211	3
心房細動及び粗動	I48	3
原発性肺高血圧(症)	I270	3
慢性心房細動	I482	3
肺炎, 詳細不明	J189	3
下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	I802	3
失神及び虚脱	R55	3
(四)肢の動脈のアテローム<じゅくく粥>状>硬化(症), え<壊>痕あり	I7021	3
前壁の急性貫壁性心筋梗塞	I210	2
低浸透圧及び低ナトリウム血症	E871	2
大動脈弁閉鎖不全(症)	I351	2
上肢の動脈の塞栓症及び血栓症	I742	2
その他の急性心筋炎	I408	2

検査治療数集計

診療明細名称	件数
心臓カテーテル検査総数	1,368
冠動脈造影	777
冠動脈形成術総数	336
緊急冠動脈形成術	116
ROTA	19
OAS	6
IVL	13
末梢血管形成術	64
カテーテルアブレーション	302
AF-PFA	233
AF-Re-PVI	21
CTI	13
VT	6
AVRT	6
AVNRT	11
AT	11
電気生理検査	1
経カテーテル的大動脈弁植え込み術	20
Sapien	16
Evolut	4
ペースメーカー植え込み術	110
経静脈	48
リードレス	31
新規CRT-P	1 *
新規CRT-D	2
交換	23
ILR(循環器)	5 *
Impella CP	22
Impella 5.5 (心臓外科)	12
ECMO(循環器+心臓外科)	45
IABP	21

IVCフィルター	2
経食道心エコー検査	203
冠動脈CT検査	789

<今年度の成果と来年度への抱負>

- ・泉州地区における重症循環器疾患診療の砦として、例年どおり心臓血管外科、救命診療科など他部門と密に連携を取りながら循環器疾患診療を行い地域医療に貢献した。
- ・新たなスタッフとして大菅瑞生医師が加わり、不整脈部門のパワーアップを図ることができた。
- ・非常勤医員(専攻医)として北川峻医師が加わり、若い力で患者数の増加に対応した。
- ・習田部長の専門とする虚血性心疾患に対する冠動脈形成術、下肢血管疾患に対する血管内治療、牧野部長の専門とする不整脈疾患に対するカテーテルアブレーションおよびペースメーカー留置など侵襲的治療を積極的に行った。
- ・山下理事長・増田部長の専門とする脂質異常・睡眠時無呼吸症候群などの専門分野に対する紹介や症例の集積も次第に増加している。
- ・特に、治療困難例など多数の患者を地域の健康診断及び他院から御紹介いただき、適切な診断と治療介入を行うことで地域医療及び予防に貢献した。
- ・上記疾患が引き起こす心不全に対しては心臓・血管センターのチームが一丸となって総合力で対応を行った。
- ・近年増加傾向にある大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療として経カテーテル的大動脈弁植え込み術(TAVI)を行うに当たり、多職種からなるハートチームで頻回なTAVIカンファレンスを行い、治療適応について検討した。
- ・国内、国外の学会に臨床研究に関する報告や学会・講演会での発表を多数行った。多数の英文原著論文・総説を著名雑誌に報告し、Rinku General Medical Centerの名を世界に広めることができた。
- ・引き続き重症三次救急例や近隣の病診連携医からの紹介例に適切に対応し、侵襲的治療件数をさらに伸ばすべく尽力したい。

